



“ 知恵を出せ！汗を出せ！知恵も汗も出ない者は静かに去れ！ ”

大学時代に先輩から教えていただいた言葉です。どんな集団に入ったときも、何らかの形でその集団に貢献しなさいという教えです。学級集団においては知恵のある者は知恵を振りしぼり、先頭に立って集団をまとめなさい。そして、知恵なき者は陰に回り、係活動や掃除などひたすら汗する努力をしなさい。そのどちらでもない者は、その集団に所属する資格はないという意味です。やや厳しい教えではありますが、人間が一人では生きていけないことを考えるととても大切な言葉であるように思います。



“ 努力は必ず報われる ”



私は、世の中の多くのことは本気になって努力をすれば、必ず納得のいく結果が出せるものだと思っています。特に、卒業生の皆さんが、中学校時代に経験する勉強や部活動においては、努力した分だけ結果が伴ってくるはずですが、たとえ、満足のいく結果が得られなかったとしても、必ずや充実感や達成感を感じることができるでしょう。勉強面においては、中学校では「中間テスト」「期末テスト」など範囲の決まった定期テストが行われます。そのテストに向けて、勉強した分（時間）だけ、結果（成績）となって返ってきます。また運動面においても、自分の決めた目標に向けて、人の2倍、3倍努力すれば、必ず賞状やメダルを勝ち取ることができるのではないのでしょうか。いずれにせよ、大切なのは努力…、いかに「報われる努力」ができるかどうかですね。

“ 感動 = 夢 + 努力 ”

私はこの言葉を何回も紹介してきましたが、「感動」こそが人間を最も成長させるものだと強く信じて疑いません。大げさかもしれませんが、子どもたちが社会に出るまでに、どれだけ多く「感動」の体験をしたかで、その後の人生が大きく変わってくる気がします。「感動のみが人を向上させます。スポーツの試合にしても、負けて悔しがり、勝って喜ぶから、また次へのファイトが湧くのです。負けても、どういうことでもない人には、次への飛躍は期待できません」（元NHKアナウンサー：鈴木健二）、夢を持って『力いっぱい』（校訓）努力するからこそ、終わった時に大きな感動（達成感）を味わい、それが生涯忘れることのない大切な思い出になるのではないのでしょうか。

